

令和6年度 学校関係者評価（学校評議員）

A：そう思う B：だいたいそう思う C：あまりそう思わない D：そう思わない

項目	評価	評価内容
学校運営	A	<ul style="list-style-type: none"> ・校長と教頭が職員や児童を大切にしていることがよく伝わる。管理職に相談しやすい学校であることがよく分かるので、経験値の少ない先生方も伸びていると感じる。 ・L A通級教室について、ニーズは多いため、開設できて良かった。また、発達検査の受診等、特別支援学級に抵抗が強い保護者にとって、特別支援学級に入らず児童の特性にあった指導が受けられることは有り難いと思う。
学習指導	A	<ul style="list-style-type: none"> ・担任が児童と信頼関係を結びながら指導する様子が非常に印象的だった。児童や担任の生の様子が見られて良かった。 ・どの学級の児童も整然と授業に臨んでいた。また授業を熱心に受けていたことが印象的だった。職員の日々の指導に敬意を表する。 ・タブレット端末の活用も日常的に行われていて良かった。タブレットの持ち帰りは毎日行われていることが分かった。
学校行事等	A	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症対策を踏まえて教育活動の工夫改善を図ってきたことを生かし、本年度は「実感のある関わり」をめざして外部人材の活用やマラソン納会など、さらに工夫を凝らした教育活動ができた。 ・学校内外における、自然観察、世代間交流、伝統的・文化的活動等、多方面に渡る見学や体験活動を通して、児童の健全な成長が図られていた。 ・幼稚園や地域人材、保護者との交流が、子どもたちにはとても興味深い活動になったと思った。
生徒指導	B	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめや不登校の児童に対し、学校が計画的・組織的に対応していることがよく分かった。学校評価を生かしながら、児童が安心して登校できる学校となるよう、PTAも学校と密接に連携していきたい。 ・担任が児童の様子にアンテナを高くし、怪我やトラブル、児童の成長や不安について、管理職の助言を受けながらこまめに保護者と連絡を取り合っていることが学校と保護者の信頼関係を構築していると感じた。 ・スローガン「自分からあいさつ」「やさしいことば」を児童・教職員にさらに浸透させてほしい。
家庭・地域との連携	A	<ul style="list-style-type: none"> ・本年度1月実施の「1000箇所ミニ集会」での「地域防災を核とした、学校・地域の連携」は大変良かった。次年度の公開研究会でも、充実した実践発表ができるよう協力体制を深めていきたい。 ・学校がこまめに保護者と連絡を取り合っていることが保護者との信頼関係を構築していると感じた。保護者への啓発を通してさらに信頼関係を高め、協力して心豊かな児童を育成したい。 ・時代に合ったPTA活動になるよう、組織を改革していきたい。
児童の様子	A	<ul style="list-style-type: none"> ・4月から1年間児童の様子を見てみると、児童の各所に成長が見られ喜ばしい。 ・授業参観では、どの学級も落ち着いて授業に取り組んでいた。 ・優しい言葉をかけることは、いじめ防止にもつながることだと思う。引き続き児童には意識をして欲しい。